

○ 地産地消を実践し、地域農業の活性化

(山口県山口市農業委員会 中川恵美子農業委員(8期)
山口県農業委員会女性協議会 副会長)

1. 農業委員会の概要

- 農業委員:24名(うち女性6名)
- 農地利用最適化推進委員:44名(うち女性5名)

2. 取り組みのきっかけ

- 都市近郊の山口市大内地区で生産者の高齢化と地域の宅地化が進む中、地域農業の活性化を目指し、農業委員就任以来「1人でも多くの生産者が自身の農地で自給できるほどは耕作し続けてほしい」と呼びかけてきた。

3. 具体的な取り組みの内容

- 平成15年に同地区約100名の生産者で設立された「大内ふれあい出荷組合」の組合長として、朝市を運営。
- これまでの地道な活動の結果、朝市も活気づき、その日に持ち込まれた新鮮な地元農産物や加工品を目当てに大勢の人で賑わう。
- 市内の小学校への学校給食として地元食材の提供を行うほか、体験学習を受け入れるなど地域活動、食育活動にも取り組む。
- 地域の資源を活用しながら農産加工品などを提供し収入に繋げる、いきいきとした活動を行う女性起業家・グループが集う「やまぐち農山漁村女性起業ネットワーク」の代表も務める。

